

## 泡消火設備試験結果報告書

試験実施日 年 月 日

試験実施者

住 所

氏 名

用 途	( )項		構 造			
延べ面積			m <sup>2</sup>	階 数	地上 階	地階 階
	固定式 (全域放出方式)		局所放出方式		移動式	
試 験 項 目			種別・容量等の内容			結果
外 観	水	水 源 の 種 類・構 造	――			
		水 量	m <sup>3</sup> (縦 m 横 m 有効深さ m)			
		吸 水 障 害 防 止 措 置	有 • 無			
		給 水 装 置	――			
		耐 震 措 置	有 • 無			
外 観 試 験 加 壓 送 水 裝 置	設 置 場 所					
	ポンプの仕様	製造者名		定格吐出量		ℓ /min
				定格全揚程		m
		型式		製造番号		
	電動機の仕様	製造者名		種別		型電動機
				定格電圧		V
		型式		定格電流		A
	製造番号		出力			kW
	ポンプ・電動機	設 置 状 況	――			
		接 地 工 事				種接地
配 線		――				
潤 滑 油		――				
水温上昇防止のための逃し装置		配 管 ・ バ ル ブ 類	管の呼び			A
	オリフィス等	流過口径			mm	
性能試験装置の配管・バルブ類		――				

試験項目			種別・容量等の内容		結果
外観試験	ポンプを用いるもの	呼水装置	材質	鋼板製・合成樹脂製	
			水量	ℓ	
			溢水用排水管	管の呼び	A
		呼水管	管の呼び	A	
			補給水管	管の呼び	A
		減水警報装置	フロートスイッチ・電極		
	圧力計・連成計	設置場所			
		制御盤	——		
		予備品等	——		
		接地工事	種接地		
		設置位置	——		
	減圧装置	性能	級		
		直 接 操 作 部			
		起動用圧力タンク	第2種圧力容器・高圧ガス圧力容器		
	起動装置	起動用水圧開閉装置	タンクの容量	ℓ	
		配管・バルブ類	管の呼び	A	
		自動式起動装置	閉鎖型スプリングクラーヘッド	——	
		自動火災感知装置	——		
		手動式起動装置	設置場所等	——	
	高架水槽を用いるもの	設置高さ	床面からの高さ		m
		構造	——		
		表示	——		
		流水検知装置	——		
	圧力水槽を用いるもの	構造			
		内容積・落差	m <sup>3</sup>		m
		配管・バルブ類	——		
		水位計	——		
		種類・構造	第2種圧力容器・高圧ガス圧力容器		
	耐震措置	内容積・有効圧力	m <sup>3</sup>		MPa
		自動加圧装置	有	・	無
		配管・バルブ類	——		
		水位計・圧力計	——		

## 泡消防設備

3

試験項目		種別・容量等の内容							結果					
外観試験	配管・バルブ類	設 置 状 況												
		機 器		配 管	――									
				バ ル ブ 類	――									
				吸 水 管	――									
	防食震措置	フ 一 ト 弁		――										
		防 食 措 置		有 ・ 無										
	電源	耐 震 措 置		有 ・ 無										
		常 用 電 源							V					
	非 常 電 源 の 種 類		専用受電・自家発電・蓄電池・燃料電池											
	放射区域又は防護区域の数况及び設定状況		階						—					
			放 射 区 域 等 の 数						—					
			発 泡 方 式 (高発泡・低発泡)											
			設 定 状 況											
	泡放出口	設置方法	配 置 等		――									
			配 管 へ の 取 付		――									
			取 付 方 向		――									
		機 器	泡 ヘ ッ ド		――									
			高発泡用泡放出口		――									
	制御弁		設 置 場 所 等		――									
			設 置 高 さ		床面からの高さ			m						
			構 造		――									
			表 示		――									
	流水検知装置・圧力検知装置		設 置 場 所 等		――									
			種 別 ・ 口 径		――									
			減 壓 警 報		――									
			構 造 ・ 性 能		――									
	一斉開放弁	起動操作部	設 置 場 所 等		――									
			設 置 高 さ		床面からの高さ			m						
		作 動 試 験 装 置		――										
		構 造 ・ 性 能		――										

## 泡消防設備

4

## 泡消火設備

(5)

試験項目				種別・容量等の内容				結果		
機能試験	ポンプを用いるものの	呼水装置作動試験	減水警報装置作動状況	底面からの高さ cm						
			自動給水装置作動状況	_____						
			呼水槽からの水の補給状況	_____						
		制御装置試験	起動・停止操作時の状況等	_____						
			電源切替時の運転状況	_____						
		起動装置試験	ポンプの起動状況等	_____						
			起動表示の点灯状況	_____						
			起動用水圧開閉装置の作動圧力	設定圧力 MPa	_____					
		ポンプ試験	運転状況	_____						
			※締切り運転時の状況	締切揚程	m					
				電圧	V					
				電流	A					
			※定格負荷運転時の状況	定格揚程	m					
				電圧	V					
				電流	A					
		※水温上昇防止装置試験	逃し水量 ℓ/min							
		※ポンプ性能試験装置試験	表示値の差 ℓ							
		高架水槽を用いるもの	作動試験	給水装置作動状況						
			静水圧測定	最下位	MPa	最上位	MPa			
		圧力水槽を用いるもの	作動試験	給水装置作動状況	_____					
				自動加圧装置作動状況	_____					
			静水圧測定	最下位	MPa	最上位	MPa			
配管耐圧試験				試験圧力 MPa						
手動式起動装置試験				_____						
流水検知装置・表示等				_____						
総合試験	泡放射試験(低発泡によるもの)	固定式	放射区域							
			起動性能等	自動火災感知装置による起動	_____					
				手動起動装置による起動	_____					
			ヘッドの放射状況							
			放射圧力(MPa)	最高	_____					
				最低	_____					
			希釈容量濃度(%)							
		発泡倍率(倍)				_____				

## 泡消火設備

(6)

試験項目			種別・容量等の内容								結果				
泡放射試験 (低発泡によるもの)	移動式	25 % 還元時間 (sec)													
		放 射 区 域									—				
		放 射 状 況													
		放射量の測定	放 射 壓 力	MPa				MPa							
			放 射 量	ℓ /min				ℓ /min							
		希 釀 容 量 濃 度	%				%								
		発 泡 倍 率	倍				倍								
合 試 験	泡 放 射 試 験 (高発泡によるもの)	25 % 還元時間	sec				sec								
		放 出 区 域									—				
		起動性 能等	自 動 火 災 感 知 装 置 に よ る 起 動												
			手 動 起 動 装 置 に よ る 起 動												
		自 動 閉 鎖 装 置 の 作 動 状 況													
		放 射 状 況													
		放 出 停 止 措 置 に よ る 停 止 状 況													
	非常電源切替試験	放 射 壓 力 の 測 定 (MPa)													
		自 家 発 電 設 備	—												
		蓄 電 池 設 備	—												
備 考															

備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。

3 ※印の試験は、「加圧送水装置の基準」(平成9年消防庁告示第8号)に適合している旨の表示が付されているものにあっては、省略することができる。

4 結果の欄には、良否を記入すること。

5 非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。

6 総合操作盤が設けられているものにあっては、総合操作盤についての試験結果報告書を添付すること。